

地域脱炭素フォーラム2025 in 新潟
～地域脱炭素2.0に向けた官民連携の更なる強化～

新潟スワンエナジーのご紹介

2025年11月6日



新潟スワンエナジー株式会社
Niigata Swan Energy Corporation

1. 新潟スワンエナジー(NSE)とは

「地域の低炭素化」、「地域経済の活性化の好循環」を生み出すことを目的として、新潟市、第四北越銀行、JFEエンジニアリングが官民連携で設立した地域新電力会社です。



左から第四北越FG殖業取締役・中原市長・JFEE大下社長

社名	新潟スワンエナジー株式会社	
設立	2019年7月17日	
資本金	5,000万円	
株主	新潟市	10%
	株式会社第四北越銀行	5%
	JFEエンジニアリング株式会社	85%
本社	新潟県新潟市中央区東大通 1 丁目2番23号	
代表者	代表取締役 島村 隆宏	
主な事業内容	・地域の再生可能エネルギー電源を中心とした電力小売事業 ・その他エネルギーサービス事業	

2. 各社の役割と強み



×



×



- 保有発電設備/施設からの
電力提供調達
- 市内電力需要家に対する
本事業の普及推進

- 市内電力需要家への
情報提供/営業支援
- **財務面強化策の提案**

- **電源/電力の提供**
- **事業運営**
(全国における地域新電力
事業ノウハウの活用)

=

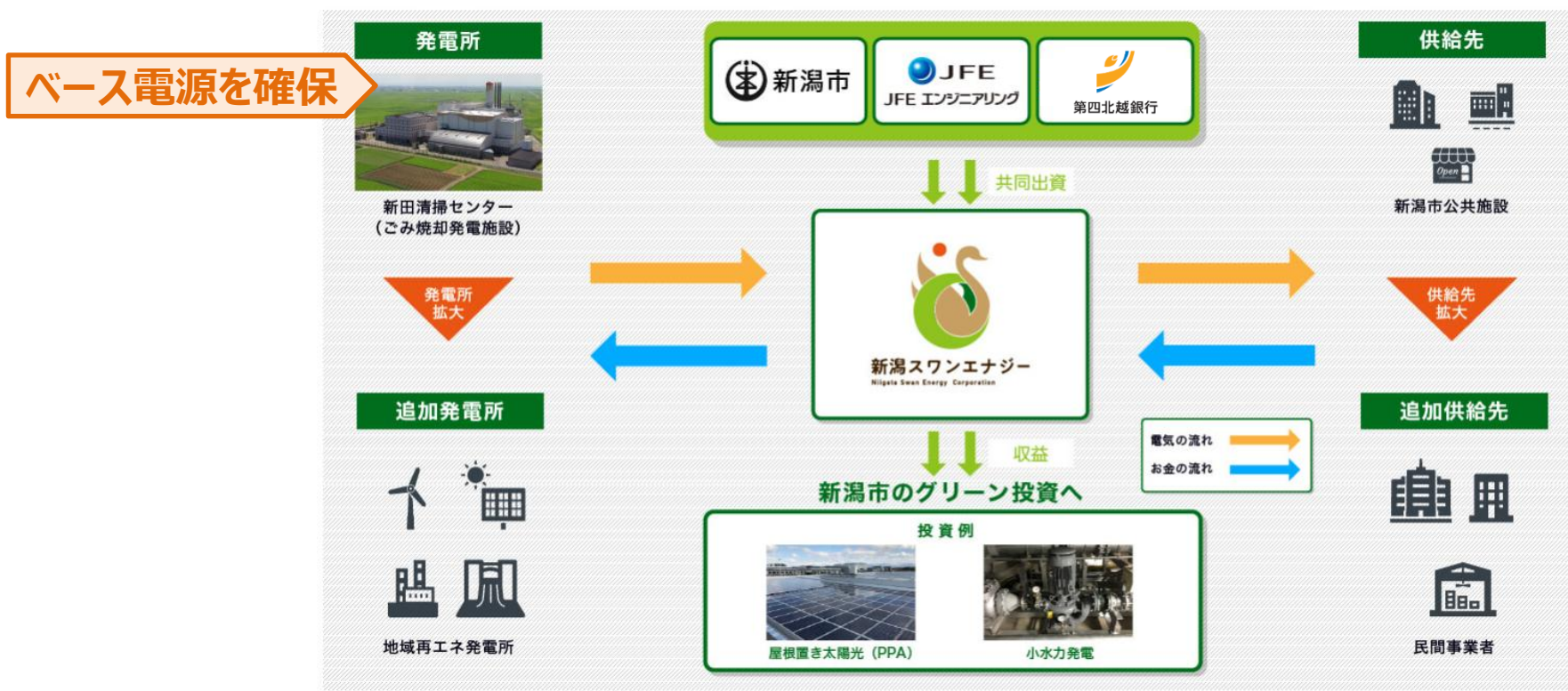


新潟スワンエナジー株式会社
Niigata Swan Energy Corporation

3. 事業概要

「新潟市における電力の地産地消」

- ✓ 新潟市にある再生可能エネルギー発電所やその他契約発電所から電力を調達
→ 「新田清掃センター」&「亀田清掃センター」をベース電源として活用
- ✓ 新潟市の公共施設や民間事業者に電力供給
→ 契約電力39,440kW/708カ所（2025年3月時点）



4. NSEの取組① 地産電源を活用した電力供給

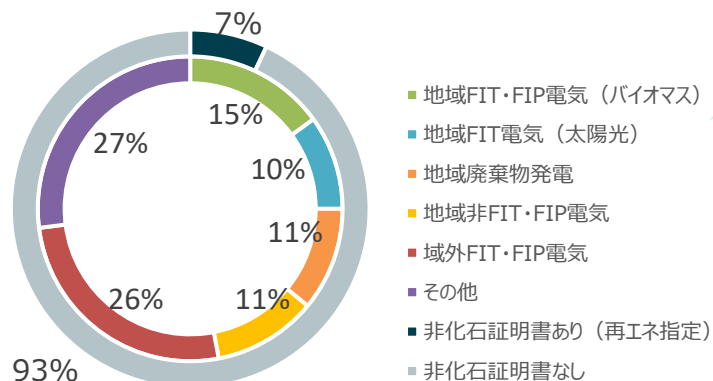
■ 地産の再エネ電力を活用した電力供給プラン



プラン名	再エネ100+プラン@にいがた	再エネ100の日応援プラン@にいがた
概要	・廃棄物発電・太陽光発電等再エネ電源100% ・新潟産の電気100% 電気の脱炭素度100% ・「再エネ100宣言RE Action」対応 100%の電気を供給するプラン	2050年 RE100に向けて、毎月7日に再生可能エネルギー100%の電気を供給するプラン
ご利用施設	・新潟市美術館 様 ・新潟市新津美術館 様 ・万代島多目的広場 様 ・新潟県高等学校教職員組合 様 ・第四北越銀行 複数支店 様	・東区役所(テナント含む) 様 ・北/南/西/西蒲/江南区役所 様 ・中央卸売市場(テナント含む) 様 ・他民間施設 様

【電源内訳】

地産電源比率 **47%**



【電源一例】新田清掃センター(7,800kW)

5. NSEの取組② PPA事業/DR事業

■ 太陽光PPA(Power Purchase Agreement : 電力販売契約)事業

【設置場所】

新潟市様
満願寺浄水場

【パネル設置容量】

645kW

【発電量】

約650,000kWh



【設置場所】

(株)原信様 河渡店

【パネル設置容量】

465kW

【発電量】

約401,000kWh



■ 水道施設のポンプを活用したDR(Demand Response)事業

✓ デマンドレスポンス

電力供給状況に合わせて電力使用量を制御する取組

✓ 水道水の安定供給を維持しながら

DR要請に応じて、消費電力をコントロール

